

あけまして
おめでとうございます



旧年中は、弊社商品をご愛用頂きまして誠にありがとうございました。
本年も、各種界面活性剤を始めとした管理資材や技術力で
ターフメンテナンスのサポートに努めさせて頂きますので、
変わらぬご支援を頂けますようお願い申し上げます。

1月・2月の管理ポイント

冬場の土壌乾燥を予防しましょう グリーンシナジー

冬場は空気が乾燥し、風も強いので、少し油断すると土壌が急激に乾燥してしまいます。グリーンシナジーを処理して適度な水分を保持し乾燥害から芝を守りましょう。グリーンシナジーは、他資材や肥料との相溶性が高いので、タンクミックス可能です。また、経済的で、安全性が高いので、散布の度にご使用いただけます。

使用量：1-2ml/m²/月 散布水量：100~1000ml/m² 散布回数：資材散布時にタンクミックス

土壌水分環境を整えましょう レボ (REVO)

レボは、土壌の広い範囲に水を行き渡らせ、表層、根圏の水を少なめに保ちます。気相の割合が増えるので、土壌中の酸素が豊富になります。土壌水分環境を整え、生育期に備えましょう。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回

芝生の耐乾性・耐寒性を高めましょう リーフシールド

リーフシールドで茎葉部をコーティングすると、蒸散を抑制し、芝の乾燥を防ぐと共に葉面温度の低下を軽減出来ます。着色剤と組み合わせると、葉面温度が上昇し霜が早く溶けます。

希釈倍率：200-400倍 散布水量：100~300ml/m²

アントシアンが発生するワケ

寒くなると発生するアントシアン。ベントが弱ることはありませんが、美観が損なわれてしまうため、冬に起こる困った生理障害の1つとされています。今回は、アントシアンが発生する仕組みを紹介します。

アントシアンが発生する条件



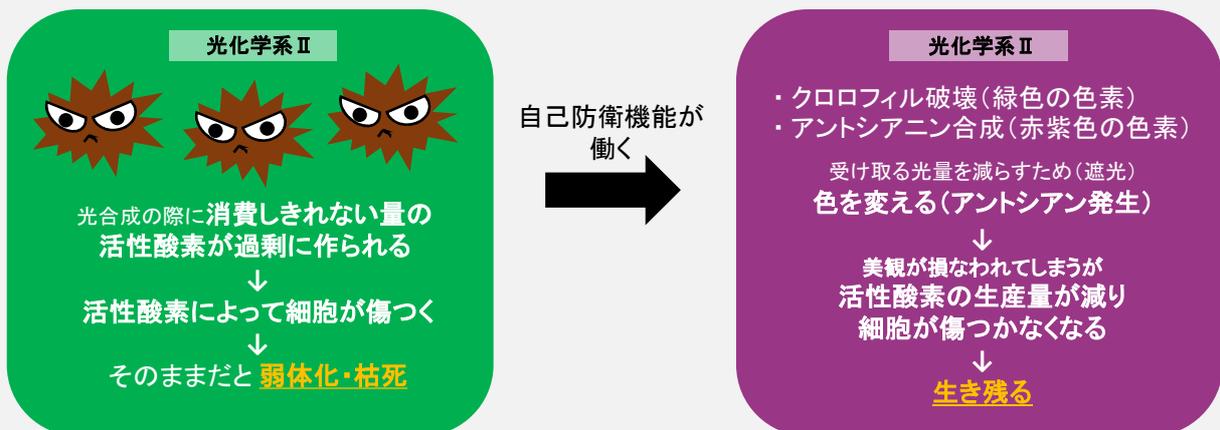
低温で光合成速度が落ちているのに、消費出来る量以上の過剰な光を受け取る

アントシアンが発生している様子



ベントは弱らないが、美観が損なわれてしまう

細胞内で起こっている事



アントシアンは、活性酸素によって細胞が傷つき、弱体化・枯死してしまわないための「自己防衛機能」

- ・この特性は、先祖返りで発現するので、造成年数が長いほど発生しやすくなります。
- ・アントシアンが起こる個体は病害抵抗性、ストレス、暑さに強いといわれています。
- ・植物は、他にも様々な自己防衛機能を持っています。